



「参道に紅葉のカーペット」
四季の部 銀賞 日野市 富森 光男



旧盆雑感

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

八月十五日は、當山では昔から施餓鬼会の法要をお勤めし、多くのお檀家やご信徒のみなさんが参列され、ご先祖の霊に祈りを捧げる日となっています。また当日は終戦記念日でもあり、先の大戦で亡くなられた多くの人にも思いを重ねられている方もおられることと思います。残念なことに、ここ数年は新型コロナウイルスにより、檀徒総代さんだけに法要への出席をお願いし、お檀家やご信徒のみなさんと祈りの場を共有できず、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

また、お盆の期間は當山では十三日より十六日まで。とくに十三日の夕刻にはお盆の法要を山内僧侶の総出仕でお勤めし、その後、大日堂裏手の墓地にお迎えに行き、読経をするのが恒例となっています。ところが今年台風八号の接近にともない風雨が強く、墓地に行きお迎えをすることが出来ず、大日堂内から墓地に向って読経を致しました。確か秋山貫主の代、私が三十代の時に一度だけ旧大日堂から読経したことを記憶しており、それ以来のこととなりました。

今年の関東は梅雨が記録的に短く、六月下旬にはすでに猛暑となり、この夏はどうなることかと不安な思いになりました。また世界を見渡すと、ヨーロッパではアフリカから北上した熱波に襲われ、各地で森林火災が発生し、北海道より高い緯度のイギリスでは観測史上、初めて気温が四十度を越えたとのニュースが伝わってきました。また、確かな発表を待たなければなりません、恐らく北極や南極の氷も融解がすすんで最小となり、結果として海面も上昇し、これから気候が大きく変動するのではないかと、勝手に危惧する次第です。

ほんの些細な出来事がさまざまな要因をひき起こし、その積み重ねの結果、非常に大きな事象につながることをバタフライ効果などと言いますが、現在、常態化しつつあるようにみえる異常気象もまた、わたしたちの日々の活動の結果によるものとするならば、微力でも、わたしたちひとりひとりが暮らし方を変えれば、きっとより良い未来を創ることができるとは思っています。

最後となりましたが、新型コロナウイルスや災害で命を奪われた方々のご冥福をお祈りします。

お不動さまの心——(一一八) 現代の世相から (78) 廣 澤 隆 之

安倍元総理大臣を襲った惨劇の原因を探る中で、テレビなどのマスコミは犯罪の遠因となつたと想定される宗教組織や関連団体と政治家との関係を繰り返し報道しています。そしてネット上でもこの事件や宗教組織などについておびただしい情報が飛び交っています。パソコンを使わない高齢者や一部の人を除いて、ほとんどの人がこのネット上の情報に関心を持っているようです。

テレビにしろインターネットにしろ、多くの情報発信やコメントが強い感情に衝き動かされているように思えます。この宗教教団に関しては証拠もなく、推測に過ぎなくとも非難をしかまわれないといった風潮が見られることが気にかかります。というのも、この反社会的とも思える教団を批判することが正しいという感情に駆られてしまい、その感情の流れが多くの人の気持ちをも動かすようになると、社会を思わぬ方向へと向かわせることが危惧されるからです。正義を振りかざした社会的発

言が高揚感をもたらすときには、その正義が暴力へと転換する危険性があると考えられます。いまだ戦火のやまない多くの地域では、それぞれが正義を主張して兵士や国民の感情を煽っている場合もあるようです。かつてアメリカはイスラム原理主義の一派によって引き起こされた国際貿易センターへの自爆テロの直後に、その犯罪集団の根城であるアフガニスタンへの空爆をしました。その空爆という恐ろしい暴力を正当化し、アメリカ大統領は国民に向けた演説で何

度も「正義」を訴えました。そしてその正義の実行によって多くのアフガニスタンの民間人が殺害されました。その数は国際貿易センターでの犠牲者数を上まわっています。「正義」に名を借りた暴力は罪もない子供たちの命まで奪つたのです。自爆テロの不条理な犯罪を非難し、ニューヨークでの悲劇的な事件は詳細に報道されました。しかし、アフガニスタンの悲劇はそれと同じように詳らかに報道されることはありませんでした。

欧米の言葉で「正義」という場合、そのもとは宗教的な意味が含まれています。欧米語での「正義」はキリスト教で信じられている「神の正義」にもとづきます。神はこの世に生きた人を神の国に導き入れるか地獄に落とすかを審判します。この審判は正義にもとづいてなされます。

この考えは裁判やスポーツの場合にも適用されています。ここではルールに則った基準正義にもとづいて判決あるいは審判がなされます。

かつてはキリスト教の教義にもとづいて正義



坐像 明王 不動 坂本 雅城 画

が定められました。が、今では国民の意思にもとづいてそのルールは法律として作られ、そこに特定の宗教の教義の影響がないことになっています。宗教の影響を除いた近代の法体系はあくまでも理性、すなわち国民が共有できる意志によって導かれたルールです。それは冷静な論理にもとづくのですから、正義を振りかざす感情の高揚は極力抑えなければなりません。私たちもそのルールにもと

づき、冷静に事柄を見きわめて正邪の判断を下すべきでしょう。正義感を抱きつつも冷静に法律の解釈を論理的に展開し、話題となつている宗教教団の勧誘や伝道が違法であるという判決を勝ちとつた弁護士がおられることを私はネット検索で始めて知りました。その判決文をその弁護士の本ホームページで読みました。また多額な献金を勧める手段が違法であるという判決があることも知りました。また被害者を救済するために活動して

感情論が先行している場合が多いように感じます。さらに、テレビやネットに飛び交う情報に接すると、宗教について無関心なまま、事件があると感情的に宗教を話題にする知識人が多いことを嘆かわしく思います。このことはオウム真理教の事件の時にも感じましたが、衝撃的な事件があると「宗教」という言葉が曖昧なまま使われてしまします。そして「宗教に入るとこわい」といった表現や、「あの人は宗教に入っているらしい」といった言い回しが広がります。しかし、たしかに胡散臭い団体はあります。そういった団体がおかしいと直観的に思ったり、感情的にとらえることも大事ですが、それでも非難する場合、感情論ではなく、きちんと法律という社会のルールにもとづくべきでしょう。そうした感情が暴走する危険を歴史が教えてくれています。どんな場合でも、まず自らを省みる心が大事でしょう。それを仏さまが見つめています。

.....

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

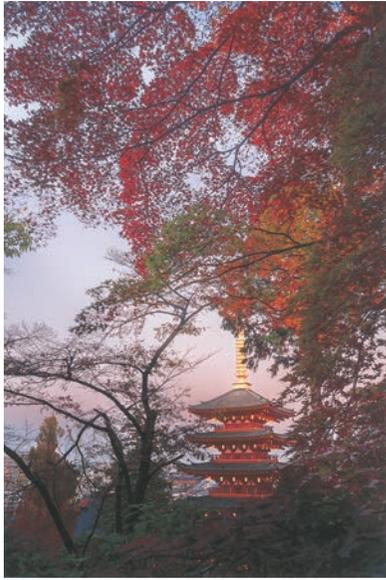
(令和四年五月一日〜七月三十一日)

国立市 塩野 文子
彦根市 西澤 政男
(三回)

幟旗奉納者芳名

(令和四年五月一日〜七月三十一日)

世田谷区 蛭子能収	品名	あじさい苗 十四株
世田谷区 蛭子悠加	奉納者	
世田谷区 市木恒弘	入間市	渡辺 日出夫
新座市 井上希和		
新座市 井上大輔		
新座市 井上遥斗	品名	マスク(手作り)
新座市 井上かのん	奉納者	
新座市 井上朝陽	国立市	佐藤 ふじ子



「秋彩」
四季の部 銀賞 八王子市 渡邊 敦子

く 献花のおすすめく

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 高幡山お花講
- 一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

御詠歌始めませんか

「密厳流御詠歌」講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、萬燈会・常楽会などの法要でお唱えます。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円

(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」

電話 〇四二五九一〇〇三二



あな嬉し
行くも帰えるも
止るも

吾れは大師と
二人連れなり

「同行二人詠歌 遍照」

高幡不動尊
フォトニュース



施餓鬼会 8/15



青葉まつり法要に出仕～高幡山遍照講 6/15



あじさいの穂切り 7/8



智山専修学院生来山 6/3



あじさいまつり写真コンクール審査 7/29



成田山勸学院生来山 6/9



嵯峨御流いけばな教室 あじさいまつり華展 6/13



あじさいまつり薄茶接待 6/1



牧宥恵先生の写仏教室 6/18



五重塔の上に「ハロ」が出現 6/1



高幡山華道部の皆さん 5/28

秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇ 九月

- 11日(日) フリーマーケット
 - 18日(日) ござれ市(がらくた市)
 - 21日(水) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
 - 23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
 - 24日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
 - 28日(水) 秋季大祭大般若会 お花講総登壇日
- 記念法話 講師 真言宗智山派教化部長
観音寺 御住職 服部 融亮先生
演題 「わたしたちの目標 生きる力
仏さまに祈り 仏さまと出会う」

◇ 十月

- 9日(日) フリーマーケット
- 16日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(金) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(金) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶
- 28日(金) 11月17日(木) 第五十一回 高幡不動尊菊まつり (下段参照)

◇ 十一月

- 11月中旬 七五三祈願 (下段参照)
- 12日(土) 19日(土) 世界糖尿病デー 五重塔ブルーライトアップ
- 12日(土) 13日(日) 高幡写仏会 講師 牧有恵先生
- 13日(日) フリーマーケット
- 18日(金) 30日(水) 高幡不動尊もみじまつり (九頁参照)
- 20日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(月) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 22日(火) 23日(祝) 萬燈会・たかはたもみじ灯路(九頁参照)
- 23日(祝) 花塚供養
- 24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(月) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

第五十一回高幡不動尊菊まつり

恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の通り開催されます。皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。

記

- 一、月 日 十月二十八日(金)～十一月十七日(木)
- 一、会 場 高幡不動尊境内
- 一、参 加 多摩菊花連盟参加八市の菊作り愛好家
- 一、出 品 厚物・管物・一文字・懸崖・福助・だるま・盆栽・切花等、○○○点余り
- 一、特別出展 参加八市の特設花壇及び特志者の大作り (千輪咲・三重塔) 等も出品。
- 一、審 査 十一月五日・十三日の両日に行われ、内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・東京都知事賞等が贈られます。

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示された菊花のうち切花は十一月七日・十四日の両日朝から、福助は十一月十日午後一時から即売されます。又、期間中のご縁日・日曜・祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、なるべく電車・モノレール・バスをご利用下さい。

七五三・新生児祈願のご案内



お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

◎ご修行時間 午前九時～午後四時

◎ご祈願料 金三、〇〇〇円以上 (お札・供物料含む)

※堂内ではお子様を中央前に、ご家族の方はその後ろにお座り下さい。



高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(金)～十一月三十日(水)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘楼堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されております。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十二日・十三日 高幡写仏会
- 十一月二十日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十三日 花塚供養
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ご縁日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様
の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ
せていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。
尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の
置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が
現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(火)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法 話・詠歌奉詠
- 萬燈会(塔院) 午後四時
- 塔婆供養(五重塔前) 午後五時
- 奉納コンサート 午後五時三十分
- 午後六時
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(一人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(一霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

秋季大祭記念法話

日時 九月二十八日(水)

十二時三十分から

会場 客殿二階(聴講無料)

講師 真言宗智山派教化部長
飯能市 観音寺御住職

服部 融 亮 先生

演 題

「わたしたちの目標

生きる力

仏さまに祈り

仏さまと出会う」



高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御
本尊不動明王に奉納する写仏会です。
当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)
写仏布教の第一人者、画僧牧智恵師を招いて開催しています。
写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加い
ただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊
不動明王のご加護を授け下さい。

記

- 日時 十一月十二日(土)・十三日(日)
- 会場 午後一時～午後四時(受付 正午より)
宝輪閣地階ホール(両日共、牧智恵師の作品
を展示します)
- 内容 午後一時 法話
午後二時 写仏
- 会 費 午後四時 写仏奉納大護摩修行
式千円(材料費含む)
- ◆お申込・高幡不動尊事務局まで
電話 〇四二五九一〇〇三二

大提灯

ご奉納のお願い

当山では萬燈会・正月・大
祭・節分等の大行事の折、各
所に大提灯をお飾り致します
のでご協賛の程お願い申しあ
げます。

尚、募集要項は左の通り

- 一、品 名 萬燈会及び大祭
用大提灯(ご奉
納者芳名入り)
- 一、募集数 五十基
- 一、志納金 金五〇、〇〇〇円
- 一、申 込 当山事務局又は
宝輪閣受付

(ご連絡下されば申込書をお
届け致します)



ご奉納いただいた大提灯

第三十八回あじさいまつり 写真コンクール

今回は総数一三七一点(あじさいの部八七五点、四季の部四九六六)の作品を応募いただき、七月二十九日に審査会が行われ、合計一〇八点が入賞しました。入賞作品は九月三十日まで五重塔千体堂に、十月六日から十一日まで京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターAB館五階ブリッジギャラリーに展示します。

上位入賞者

〈あじさいの部〉

金賞 日野市 設楽 誠一 (下段掲載)

銀賞 日野市 橋本 昌利 (下段掲載)

西東京市 桜井 美代子 (下段掲載)

府中市 能登 正俊 (次頁掲載)

日野市 小山 乾 (五年六月号掲載)

日野市 平林 勇 (次頁掲載)

三鷹市 北野 修 (本号十頁掲載)

八王子市 西郡 俊一 (次頁掲載)

稲城市 栃谷 徳弘 (五年六月号掲載)

〈四季の部〉

金賞 八王子市 渡辺 邦昭 (次頁掲載)

銀賞 相模原市 坂巻 富志子 (次頁掲載)

八王子市 渡邊 敦子 (本号三頁掲載)

日野市 富森 光雄 (本号一頁掲載)

日野市 羽賀 道行 (四年十二月号掲載)

日野市 パンソ ンバティステ (下段掲載)

昭島市 野武 高行 (次頁掲載)

府中市 伊藤 嘉朗 (次頁掲載)

府中市 伊藤 嘉朗 (下段掲載)



「あじさい晴れ、四季の道」
あじさいの部 金賞 日野市 設楽 誠一



「冬のここにこ」
四季の部 銅賞 日野市 Piason Baptiste



「堂元に咲く」
あじさいの部 銀賞
西東京市 桜井 美代子



「記念写真」
あじさいの部 銀賞
日野市 橋本 昌利



「希(のぞみ)」
四季の部 銅賞 府中市 伊藤 嘉朗



「静 寂」
あじさいの部 銀賞 府中市 能登 正俊



「賑わうあじさい広場」
あじさいの部 銅賞 日野市 平林 勇



「紫陽花に包まれて」
あじさいの部 銅賞 八王子市 西郡 俊一



「ローアングルカメラマン」
四季の部 銅賞 昭島市 野武 高行



「もうすぐ出発」
四季の部 金賞
八王子市 渡辺 邦昭



「じいちゃん力持ち」
四季の部 銀賞 相模原市 坂巻 富志子

- 会
ル
灯
こ
議
潤
総
・
王
子
・
6/30
マ
・
6/11
り
法
要
・
6/20
仁
和
会
・
6/23
ま
ち
お
こ
し
協
議
会
・
6/29
ま
ち
お
こ
し
協
議
会
・
7/15
盃
蘭
盆
会
法
要
・
7/22
よ
さ
こ
い
ま
つ
り
実
行
委
・
7/27
も
み
じ
灯
路
実
行
委
・
7/29
写
真
コ
ン
ク
ー
ル
審
査
・
8/19
観
光
協
会
正
副
理
事
会
- 6/1 日野市仏教会総会・6/3 観光協会総会・6/5 少年柔剣道大会
 - ・6/7 布施化主観下ご挨拶(本山)
 - ・随心院本山葬(京都)
 - ・6/8 滝谷不動尊参拝(大阪)
 - ・6/9 成田山勸学院来山・多摩教区青年会研修会(講師)
 - ・6/11 菊花連会長会・6/15 青葉まつり法要
 - ・6/20 仁和会(京プラ八王子)
 - ・6/23 まちおこし協議会
 - ・6/30 マハヤナ総会・7/2 菊花連総会
 - ・参道会七夕まつり・7/4 潤徳小評議会
 - ・7/8 客殿建設会議
 - ・7/15 盃蘭盆会法要
 - ・7/22 よさこいまつり実行委
 - ・7/27 もみじ灯路実行委
 - ・7/29 写真コンクール審査
 - ・8/19 観光協会正副理事会

山主の主な動静



「彼岸花を訪ねて」
四季の部 銅賞 国分寺市 本多 忠雄

第三十八回あじさいまつり

あじさいまつり全国俳句大会

今大会は一五五〇句の応募があり、九名の先生方に各七〇句選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。選者は次の先生方です。

- 第五位 府中市 青風 栢谷 妙子
護摩を焚く 貫主の真顔 堂涼し 福生市 関根 正義

- 第一位 病むことも 人生のうち 濃紫陽花 国立市 内田 廣二
背負ひ来し 白寿の母や 額の花 新座市 山本 末彦
第三位 仏塔を 遠目に梨の 袋掛け 世田谷区 関戸 信治
第四位 一途なる 志士のまなざし

- ⑥大竹多可志 ⑦根岸 操
⑧中村 優江 ⑨石井百合子
⑩柴田 慶子 ⑪古郡 孝之
⑫伊藤 久子 ⑬松川 洋醉
⑭菊池 由恵 ⑮梅園 久夫
⑯久保田英夫 ⑰北村勢津子
⑱相馬マサ子 ⑲西川 陽子
⑳吉田 明子 ㉑米山 節夫
㉒小山内里路 ㉓草野 准子
㉔石井 裕子 ㉕清水 昌子
㉖中浜由志美 ㉗和仁 恭子
㉘譲尾三枝子 ㉙萬代 桂子
㉚西島 明子



「散歩道」

あじさいの部 銅賞 三鷹市 北野 修

- 第一位 空き日の 空襲に身を 潜めたる あぢさゐの葉の 冷めたき感触 横浜市 河北 笑子
第二位 紫陽花の 径なり共に 結婚を 胸に納めて 行きし径なり 調布市 福島 壺春
第三位 あぢさゐの 映る水たまりであそぶ 児のゆるる 背を見まもれる爺 八王子市 千明 武紀
第四位 初燕 五重の塔を 急降下 高幡不動の 碧き大空 世田谷区 長谷川 瞳
第五位 境内の 骨董市に 並むこけし 枯淡のこけし

あじさいまつり短歌大会

今大会は二八二首の応募があり、三名の先生方に各五〇首選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。選者は次の先生方です。

- 鳴子のこけし 武蔵野市 藤井 徳子
⑥富山富美子 ⑦徳植 弘幸
⑧伊藤恭一郎 ⑨宮本 順子
⑩竹内ユキ子 ⑪佐藤水人里
⑫坪井 眞里 ⑬鈴木久美子
⑭鷺田ひさみ ⑮橘 光江
⑯石川るみ子 ⑰奥 呂美生
⑱馬場由美子 ⑲御子柴万里子
⑳中道 操 ㉑南 孝子
㉒八木 訓子 ㉓石川 淳子
㉔大野 綾子 ㉕石井 狗童
㉖大戸紀久代 ㉗藤野 宏子
㉘藤田 孝 ㉙町田 重光
㉚西川 直子



凛々しい姿の柔道家の卵

少年柔剣道奉納大会 6/5

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女が、すばらしい奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。

- ・優勝 石沢 結人
・準優勝 大谷 羅夢
・打止め賞 大谷 煌稀

山内八十八ヶ所めぐり

今回は四九七名に御解答いただき、全問正解は二七九名でした。

クイズの正解

- ①土方歳三のあだ名は？ 「バラガキ」
⑩紫陽花の青やピンクの部位は？ 「萼」
⑳お茶室の躡口が狭い意味は？ 「人の平等」
㉑鶯は冬の間はどうしてる？ 「藪の中で鳴いている」
④仏教の貪・瞋・癡とは？ 「三毒」
⑤来年の弘法大師一二五〇年は何の記念？ 「誕生誕」
⑥サルスベリの漢字は？ 「百日紅」
⑦お不動様の江戸の出開張先は？ 「愛宕神社」
⑧鰐口の鰐とは？ 「鮫」
⑧お鼻井戸ほどの仏様のお鼻のこと？ 「不動明王」

諸行事に参加して

(敬称略)

五月大祭 (5/28)
「生きる力」

智山教化センター長

香華院御住職

鈴木 芳謙先生

日野市 三田 晴通

八十を過ぎ、頑張つて父親の九十二才を目標に、日々大切に努めて生きております。そんな思いのなか本日の法話にて心強い支えをいただいたなど感謝致しました。有意義な法話を誠にありがとうございました。合掌

武蔵野市 石川 博代

心が忙しく疲れた時、ぜひ手を合わせたいと思います。ありがとうございます。

日野市 大屋 旭

ご法話ありがとうございます。生かされている自分をもう一度、見つめ直したいと思います。

少年柔道奉納大会 (6/5)

日野市 藤倉 暁子

皆一所懸命に受け身の技をやっているのを見て、すごい



鈴木 芳謙先生

なという感想と、ここまで指導されてきた先生の大変さを知りました。

試合は皆頑張っており、勝ち負けより頑張った姿を褒めてあげたいです。

日野市 佐藤 恵子

普段の頑張りが見れて良かったです。声が出せないのが残念でした。

日野市 清水 久美

日頃の練習の成果をお釈迦様の前でお見せできて、とても光栄な事だと思いました。ありがとうございます。

日野市 石沢 景

コロナで二年間できなかった大会が開催でき、本当良かったです。子供達の元気がかっこいい姿が見れて嬉しい

です。

日野市 浦 博

長く続いている大会に三男が参加出来て嬉しく思っています。関係者の皆様ありがとうございます。ありがとうございました。

青葉まつり記念法話 (6/15)

「真言宗の法要では何をやっているの? どんな気持ちで参拝すればいいの?」

地蔵院御住職

吉田 住心先生

川崎市 内田 真生

お供えと香のお話が参考になりました。

川崎市 荒木 靖子

全てに平等というお言葉が心にひびきました。

稲城市 澤村 陽佳

このような行事に参加させて頂くことはコロナもあって何年ぶりだったか...という感じですが、またお大師様とのご縁を頂けたことを嬉しく思います。

ご法話は、導師入堂から最後の回向まで、どのような心でいれば良いのか大変面白くなる内容でした。三密を清め

お香のように救いと幸せが全ての人にゆきわたる...そんな心とそんな生活をしたいです。

日野市 福田 勝己

例を挙げながらお話いただき、大変為になりました。ありがとうございます。

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

さいたま市 稲木 洋子

予想以上に大変でした。途中で断念しようかとも思いましたが、鶯の声に励まされて巡ることができました。

四十番切りからは手を合せて祈りつつ八十八番まで終え

ほっとしました。思えば辛さがあり良かったです。達成の嬉しさがありません。お大師様と一緒に登れて心強く思いました。

品川区 木山 優子

八十八ヶ所を巡り、手を合わせることで心がとても軽くなりました。弘法大師様のお顔ひとつひとつに表情があり楽しい道のりをありがとうございます。

多摩市 林 実幸

まだ手毬り形のアジサイは

咲きはじめたばかりですが、額アジサイが満開だったので夏のはじまりを感じられました。特に毎年楽しみにしている八十八番近くの「瀬戸の舞姫」という鮮やかな色合いの額アジサイが満開だったので印象に残りました。

調布市 会田美奈子

普段、気に留めないことを意識することができました。今回のヒントがシンプルかつわかりやすく、どちらかというと問題よりヒントの方が楽しかったです。クイズを作られた方々が楽しんで作っていたのかな?と感じられ、こちらも楽しめました。色々と気づかせて下さり、ありがとうございます。



瀬戸の舞姫

山内消息

五月大祭祀念法話

五月二十八日午後二時より、五重塔塔院大ホールを会場として真言宗智山派智山教化センター長、江東区香華院御住職 鈴木芳謙先生による『生きる力』と題して五月大祭祀念法話が行われました。

鈴木先生の法話はパソコン・プロジェクトを用いた視覚に訴えるもので、お大師さま、宗派に関するクイズから始まり、最後には参列した皆さままで合掌し心静かにお大師さまのご宝号「南無大師照金剛」をお唱えし、締めくくりとなりました。(直井記)

智山専修学院ご来山

六月三日、総本山智積院より智山専修学院生十六名が、佐和生徒監、藤井副生徒監ご引率のもと来山参拝されました。

学院生は総本山での厳しい修行を積まれている中で、研修の一環として成田山、川崎大師、高尾山を巡拝し、当山に立ち寄られました。ご一行は大護摩修行に参列され、諸堂を拝観し、昼食の後、港区

愛宕の総本山東京別院真福寺へと出発されました。

(小澤記)

総本山善通寺派

大本山随心院第四十三世門跡 亀谷暁英 院下本山葬

去る四月十二日、大本山随心院前門跡亀谷暁英院下が御遷化され、六月七日に本山葬が営まれ、当山貫主が参列焼香しました。亀谷院下は平成十年に随心院寺務長、同十三年に御門跡に就任し、同三十年に退任されました。院下の仏果増進を心よりお祈り致します。(宮原記)

成田山勸学院ご来山

六月九日、成田山新勝寺宗門育成機関である成田山勸学院より監督、助監督、院生二



吉田住心先生

名が来山されました。入学して、まだ二ヶ月余りですが、境内の案内中もしっかりとメモを取り、更に質問される姿勢には感心いたしました。七月から加行(僧侶に成る為の特別な修行)に約二ヶ月入るとの事で、お身体ご自愛頂き無魔成満をお祈りしております。(手塚記)

いけばな嵯峨御流 高幡不動尊教室華道展 六月十三、十四日の二日間に渡り五重塔塔院大ホールにて、華道展が開かれました。季節柄もあり、境内の紫陽花を使った作品もあり、参詣の皆様心を和ませるものでした。中でも展示スペース中央に配置された一番大きな作品は「高幡のお不動様を表現した」との事で、納得の息を呑むような迫力がありました。(五十嵐記)

青葉まつり記念法話

六月十五日、宗祖弘法大師様と中興の祖興教大師様のご生誕を祝う青葉まつりが行われ、深谷市地藏院御住職の吉田住心先生により「真言宗の法要では何をやっているの



漆山照隆先生

?どんな気持ちで参拝すればいいの?と題し、記念法話が開催されました。会場の大日堂には多くの方のご参加を頂き、自分と他者の垣根を無くす事を目指し、慈悲の心、感謝の心を持って祈る事の大切さをお話しいただきました。(速水記)

密厳流遍照講 東京多摩教区連合会

御詠歌講習会・検定会

六月十七日、御詠歌の講習会・検定会が行われ、検定員に密厳流遍照講指導師範の林智宏先生、講師に同じく指導師範の漆山照隆先生をお迎えし、約六十名の講員の方々にご参加いただきました。

講習会では『地藏和讃(付与願)』『真言宗智山派詠歌』を講習いただき、漆山先生は、

講習の中で節だけではなく、詞の内容にも触れて、意味を理解した上で心を込めた詠歌をお唱えする事が大切であると教授いただきました。検定会は十九名の方が受験されました。(手塚記)

中学生職場体験

六月三十日、七月一日の二日間、日野市立第四中学校の二年生三名が職場体験に来山しました。

仕事は境内の各御堂の掃除にはじまり、御札の水引を整える作業などをお手伝いいただきました。また、御護摩修行にも参加いただき、約三分の慣れない正座も良い経験になったと思います。(杉田周記)

あじさい毬切り

七月八日、快晴の中、あじさいの毬切りが行われ、ボランティアの紫陽花会様二十名と山内職員総出で、境内全域の紫陽花の花を全て落としました。山の中は藪蚊に悩まされたり、斜面などは踏ん張りながらと苦労もありましたが、この毬切りにより来年もまた綺麗な花を咲かせてくれるでしょう。(佐竹智記)

奥殿だより 第二回

初公開資料

「近年之戦争」について

不動堂の真裏にある奥殿は、含めて十六葉からなり、「近年之戦争之扣」^{ひかえ}、「役人附」、「漢詩和歌発句集」、「戒名等」、「榎本武揚七言絶句」、「賢雅和上」と共に、当山の所蔵する多くの文化財を保存し、展示する為の施設でもあります。

当山では、令和二年より所蔵文化財の調査整理を進め、その成果を展示にも取り入れ、公開しております。また、以前より行っております、保存の為に修復措置が必要な資料の修復作業も実施しております。

今号より、文化財整理調査の成果や、展示の内容、文化財修復のことなどを「奥殿だより」として随時掲載し、奥殿の活動内容を紹介しようと思えます。

第一回目は、現在展示中の史料、「近年之戦争」の紹介から始めましょう。



近年之戦争

「近年之戦争」は、表紙を含めて十六葉からなり、「近年之戦争之扣」^{ひかえ}、「役人附」、「漢詩和歌発句集」、「戒名等」、「榎本武揚七言絶句」、「賢雅和上」より構成されております。

この内の「近來戦争之扣」^{ひかえ}、「役人附」は、かねてより土方歳三資料館蔵本と佐藤彦五郎新選組資料館蔵本が知られており、「立川主税戦争日記」として紹介されてきました。

今回初公開しました「近年之戦争」には、その他に「漢詩和歌発句集」などが含まれており、原本に最も近く資料的な価値の高いものであるといえましよう。

この文書は、東京都教育委員会及び日野市教育委員会によって組織された日野高幡不動（金剛寺）文化財集中調査団（团长、西川新次）調査の一環として、一九八五年度より一九

八七年度まで三箇年にわたり実施された「金剛寺聖教類」の調査によって整理され、一九八八年三月に日野市教育委員会より刊行された『高幡山金剛寺典籍・聖教文書目録』に掲載されております。



近來戦争之扣

この「近年之戦争」は写本であり、これを書写したのは、筆跡から見ても当山第二十九世貫主賢雅和上である事が明らかです。「戒名等」部分の賢雅和上の添書に「石田邑土方隼人持参」した書を、明治三年（一八七〇年）六月二十二日に書写し、「六三歳」と認められておりますが、これも賢雅和上の年齢と一致しております。

写本中で特に注目されるのは、最後に附された賢雅和上の添書きです。そこには新選組隊士立川主税に関する新情報が記されております。

その内容は「立川主税は箱館で官軍に降伏、その後御赦免を仰付られ帰国した。立川主税は元禅僧で、師弟共に帰俗して、甲州勝沼で土方歳三に属した。生国は播磨で、姫路藩家老の息、出家して勝沼の寺で寺主（寺院の事務を掌る僧侶）の職に在った。姫路城落城を聞いて奮立ち、帰俗した。「師弟」の内の弟子である。」というものです。「師弟」の「師」は、甲州で甲陽鎮撫隊に参加した僧侶として知られる斎藤秀全（二諾斎）でありましよう。

ていたものと考えられます。そして添書に見られる立川主税に関する情報は、斎藤秀全より当山にもたらされている可能性ががあります。経緯は不明ですが、秀全は明治三年四月頃には、神奈川県多摩郡中野村（現東京都八王子市東中野）にあつた金剛寺末の金住院に住んでおり、その蓋然性が高そうです。

添書の内容が事実であるとすると、立川主税の新選組入隊時期は、近藤勇、土方歳三等が甲陽鎮撫隊を組織して甲州に来た時期であると特定する事ができ、その出自についても今までの通説を再検討することが求められます。

立川主税は新選組入隊前から僧侶であり、新選組入隊時には、斎藤秀全が住持を務めていた甲州都留郡強瀬村の全福寺で、秀全に師事し修行するとともに、寺主として仕



賢雅和上添書き

ともあれ、当山所蔵の「近年之戦争」写本は、原本の発見されていない現在、原本に最も近い体裁のものであると考えられ、新選組史料研究において貴重な資料といえましよう。
*紙数の関係もあり、詳細を紹介することはできません。

関心がおありの方は、京都龍馬会発行の『近時新聞』第四十七号〜第四十九号掲載の論文「新発見の『近年之戦争』写」をご覧ください。（藤井和夫記）

高幡いきもの曼荼羅 ②0

「高幡不動尊の境内は自然が豊かです」と言った時、皆さんが「自然」という言葉で思い浮かべるのはまず「植物」ではないでしょうか。斬様に「自然≠植物」という図式は無意識のうち私達に浸透しています。しかし仔細に観察すると植物の陰にはいろんな小動物や昆虫が潜んでいることに気付かされます。自然を構成するのは様々な微生物や動植物のような多様な生き物たちなのです。

今年の夏は六月に暑さのピークがあり、その影響か例年より蝉の声が静かな気がします。ミミズが一斉に地面から出てきたり、紫陽花が暑さで焼けるような状況も見受けられました。これを異常気象のせいにしてしまふのは簡単です。しかし明らかに普通ではない事象に対して、手をこまねいているだけで良いのでしょうか。豊かな自然を守ることは、直接私達自身を守ることにつながるのだと思います。

失われた自然の多様性は簡単には元通りになりません。その為には折に触れて自然の中のいろんな生き物たちに親しんで行くことが大切です。お寺の境内はまさにそれに相応しい空間ではないでしょうか。



ジャノメチヨウの仲間



クロアゲハ



ノコギリカミキリ

なにげなくつかっている仏教のことは―断末摩(だんまつま)

仏教で「断末摩」とは、身中において身中に百ヶ所ほど中にあるという末摩に触れる激痛が生じて、命が断たれることをいいます。これが転じて、死に際の苦痛を表すようになりまし。

ゴジラなどの架空の大型怪獣、また国や自然といった観念的な存在が減ぶ際の叫びに對して用いられていることが多いようです。どちらにせよ、断末摩の叫びなど耳にしたくないものです。

この「末摩」とは梵語のマルマンの音写語で、古代イン

現在では断末摩との表現は、人の死に對して用いられることはあまりないように思われ、

(小林靖典)

お不動さま教えて？

ご質問 五重塔地下の休憩所に掲げられているお釈迦さまのレリーフについて教えてください。

(前号のつづき)

お答え はい、お答えします。

お釈迦さまの一生における重大な出来事を八つにまとめたものを「釈迦八相」と称してます。その八つの出来事の内容には諸説がありますが、一般に①降兜率(お釈迦さまが兜率天からこの世に降りてくること)、②托胎(摩耶夫人の胎内に宿ること)、③出胎(この世に生まれ出ること)、④出家(修行のために王宮を後にすること)、⑤降魔(菩提樹の下で悪魔たる煩惱を降すこと)、⑥成道(さとりを開きブツダとなること)、⑦転法輪(弟子達に説法すること)、⑧入滅(娑羅双樹の間で涅槃に入ること)をいいます。五重塔地下の休憩所にある九番目のレリーフは、「釈迦八相」



出家

第四の《出家》です。老・病・死に對する苦惱と、その苦しみからの解脱を志して出家することを決意したシッダールタは、ある日の夜更け、従者のチャンナを連れ、愛馬カンタカに乗って城を出ました。その後、国境の河で自ら髪を切り落とし、チャンナにその髪を城に届けさせ、解脱という目的を果たすまで帰国はしないと、その決意を伝えさせたといいます。五重塔地下のレリーフでは、中央にカンタカに乗ったシッダールタが城に残した妻子を思っか、少し後を振り返っているように見え、左下には出家を知らないまま眠る妻のヤシ

(次号につづく)

御護摩札郵送のご案内



大護摩札 30,000円以上 送料 800円 長さ 58cm	中護摩札 10,000円 送料 800円 長さ 52cm	護摩札 5,000円 送料 600円 長さ 45cm	護摩札 3,000円 送料 400円 長さ 37cm	懐中札 3,000円 送料 300円 長さ 11cm	交通安全祈願料 3,000円 送料 300円 長さ 15.5cm
--	--	--	--	--	--

当山では御護摩札を郵送により授与する受付を行っています。
 郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はFAXでお申し込み下さい。
 御札が届きましたら、同封の払込取扱票で郵便局にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡7 3 3 番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等でのお申し込みは受付しておりません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります

御◆案内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時
○土曜・日曜・祝日
八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日（二十八日）

五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時
○御護摩料 金三、〇〇〇円也
金五、〇〇〇円也
金一〇、〇〇〇円也

（大護摩）金三〇、〇〇〇円以上
ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット（リサイクル市）
毎月第二日曜日（雨天中止）
ござれ市（がらくた市）
毎月第三日曜日（雨天決行）

お焚き上げ
毎月十五日午前九時

月例写経会
毎月二十一日午後一時半
千体地藏尊月例法要
毎月二十四日午後二時

奥殿拝観（月曜休館）
午前九時～午後四時
拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時
参拝料 二〇〇円

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

二百十日

台風が規則正しく放物線を描くように、段々と関東方面に來襲、上陸に備え雨戸を全て閉じ、停電に備え懐中電灯やろうそくを枕元に準備していた記憶が思い出されます。

再三のコロナウイルス拡大であじさいまつりの俳句・短歌・写真の表彰式や諸行事を急遽中止にしました。

今号から、当山所蔵文化財の調査整理担当の藤井和夫氏「奥殿だより」を掲載しました。今後新発見の資料が出てくる可能性もありますのでご期待ください。

発行所
 〒191-0031 東京都日野市高幡733
 別格本山
高幡山金剛寺
 電話 (042)591-0032(代)
 FAX (042)593-3038
 発行人 黒川高徳
 編集人
 年4回発行・再生紙使用

宗祖弘法大師ご誕生千二百五十年慶讃事業

公開講座

「カルタで知るお大師さま空海」

〜知りたい、お大師さまのご足跡〜

講師 川崎一洸師 (生きる力SHINGON「お大師さまのご生涯」執筆)

◆午後一時三十分より午後二時四十分まで

お大師さまのご生涯について、「お大師さまカルタ」の絵を中心に読み解きながらお話いただきます。

お大師さまのご生涯に思いを巡らし、お大師さまを観じてください。

御詠歌法音絵巻

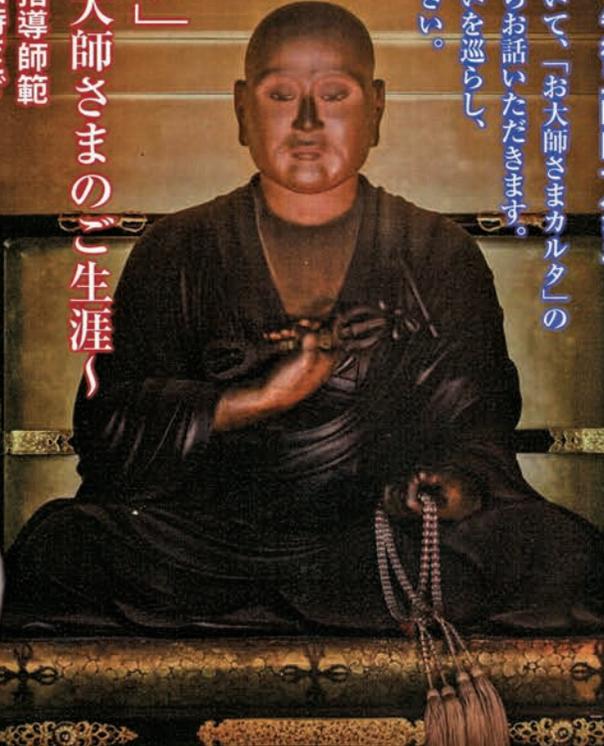
「お大師さま」

〜感じたい、お大師さまのご生涯〜

出演 密厳流遍照講指導師範

◆午後三時より午後四時まで

この度、「お大師さまカルタ」に御詠歌や声明、法話を交えた御詠歌法音絵巻「お大師さま」を公開いたします。声明(お経)・法話に加えて御詠歌(仏の教えを称える仏教音楽)によってお大師さまのご生涯をお伝えします。目で、耳でお大師さまを感じてください。



第2回 別院真福寺 地下講堂

令和4年11月22日 火

- 東京駅より東急バス(東98系統) 愛宕山下下車、徒歩1分
- 新橋駅より徒歩15分
- 虎ノ門ヒルズ駅より徒歩3分

港区愛宕1-3-8 ☎03-3431-1081



第1回 総本山智積院 金堂

令和4年11月15日 火

- 京都駅より市バス(206・208系統他) 東山七条下車、徒歩3分
- 京阪七条駅より徒歩10分

京都市東山区東瓦町964 ☎075-541-5361



申込方法 真言宗智山派ホームページよりお申し込みください (https://chisan.or.jp/)

参加費 両会場とも無料

総本山智積院大師堂ご本尊「弘法大師坐像」

生きる力 私さまに祈り 仏さまにお供え

